

第 3 回 中央区自治協議会 会議概要

開催日時	令和 4 年 6 月 28 日（火曜）午後 3 時から午後 5 時まで
会 場	新潟市役所本館 6 階 講堂
出席者	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">委 員</div> <p>日野浦委員、玉木委員、高橋(誠)委員、川端委員、高田委員、梅川委員、山田委員、遠藤委員、青山委員、樋口委員、中野委員、若槻委員、大竹委員、斉藤委員、吉岡委員、三國委員、影山委員、田中(雅)委員、宮本委員、佐藤委員、阿部委員、池委員、高橋(直)委員、小川委員、田邊委員、知野委員、西潟委員、清野委員、梶委員、高橋(勝)委員、松川委員、桐生委員、若木委員</p> <p>出席 33 名 欠席 5 名 (飯田委員、小沢委員、松山委員、田中(鈴)委員、北川委員)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">事務局・説明者</div> <p>[新潟市] 野島副市長、政策調整課長補佐 [新潟市教育委員会] 中央図書館長補佐、教育支援センター所長・指導主事 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、保護課長、建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 会議の成立について 委員 38 名中 33 名出席のため、規定により会議は成立 <p>2 議事（議長＝佐藤会長）</p> <p>（1）部会活動報告について（資料 議1）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 議長より、他の部会の活動をより詳しく知るため、全体会議とは別で部会活動の報告の場を設けたいという提案がありました。委員より賛成が得られたため、実施に向け、総務運営会議で詳細を詰めていくこととしました。

3 報告

――自治協議会委員活動報告――

(1) 部会からの報告について（資料 報 1-1 1-2 1-3 1-4）

- 「第 1 部会」中野部会長、「第 2 部会」山田副部会長（高橋（直）部会長が部会欠席のため）、「第 3 部会」川端部会長、「第 4 部会」高橋（誠）部会長より、各部会の開催概要及び検討内容について報告がありました。
- 松川委員より、第 1 部会の「にいがた 2 kmガチャ」について、開催日程、ガチャの渡し方と補充方法、広報媒体について質問がありました。中野部会長より、10 月 8 日か 22 日どちらかで開催を予定しており、景品は 3 か所どこでも渡せるように準備し、第 1 部会のメンバーで補充など行うが、足りなければ自治協議会委員の皆さまからもご協力いただきたいと回答がありました。また、広報媒体については検討中と回答がありました。
- 樋口委員より、第 3 部会のアンケートの依頼方法について質問があり、川端部会長より、第 3 部会の委員の周辺で、できるだけ多様な人から回答を集められるように依頼したと回答がありました。

――各所管課からの説明（報告）――

(2) 次期総合計画素案について（資料 報 2）

- 野島副市長、政策調整課長補佐より、次期総合計画素案について報告がありました。
- 松川委員より、6 ページの目指す都市像に「水辺」を加えてはどうかという意見があり、政策調整課長補佐より目指す都市像については、これまでも市民の皆さんから意見をいただいて決めてきたところではあるが、もし必要であれば、パブリックコメントの時にまた意見をいただきたいと回答がありました。
- 高田委員より、子どもが生まれた後の手当だけでなく、出生数を増やすような支援にも力を入れてほしいという意見があり、政策調整課長補佐より、36 ページの重点戦略 7 でライフステー

ジに応じた切れ目のない支援を行っていくことを掲げており、出会い・結婚から支援する事業を行っていくと回答がありました。副市長より、誰もが安心して妊娠、出産、子育てができるよう社会全体で支えたい、個々の施策については本編に記載してあるので、ぜひ本編を読んで、ご意見をいただきたいと回答がありました。

(3) 令和4年度教育委員会の主な事業について（資料 報3）

○ 教育支援センター所長より、令和4年度教育委員会の主な事業について報告がありました。

- 川端委員より、特別支援教育に関し、市立の特別支援学校には高等部がないことから、切れ目なく一体的な支援のためには、市立の中学校と県立の高等学校との連携が重要であるという意見があり、将来的には市立の高等特別支援学校を設置してほしいと要望がありました。また、不登校の児童生徒が増加している問題について、早急な対策が必要であるという意見がありました。教育支援センター所長より、いただいたご意見は教育委員会担当課に伝え、検討していきたいと回答がありました。
- 樋口委員より、ヤングケアラーの問題について、大きな問題と捉え、どのくらいの児童がその問題に関わっているのか、市で調査する必要があるのではないかと意見がありました。教育支援センターより、いただいた意見は市長部局、教育委員会担当課に伝え、連携して対応していきたいと回答がありました。
- 若木委員より、子ども一人一人のニーズと課題に対処するというだけではなく、根本的な解決策を検討していく必要があるのではないかと意見がありました。野島副市長より、今回は、新潟市教育ビジョン第4期実施計画として重点的に実施する事業に関する説明であると回答がありました。加えて、個々の具体的な事項については、重要な視点として受け止めていると回答がありました。

4 その他

(1) 「新潟市バンケット補助金」について

- 地域課長補佐より、「新潟市バンケット補助金」についてお知らせがありました。

(2) 「『にいがた2km』のジオラマを区役所に展示中」について

- 地域課長補佐より、『にいがた2km』のジオラマが区役所に展示されていることについてお知らせがありました。

5 委員からの議事提案に基づく討議

- 第2部会より、地域の美化活動について意見交換を行いたいという提案がありました。
- 高橋（誠）委員より、早川堀りでは、業者に委託せず地域のボランティアが清掃することで、きれいにしようという意識を持つことができているという意見がありました。
- 大竹委員より、大竹委員の自治会やコミュニティ協議会でやっている清掃活動について報告がありました。また、人と人のつながりが構築される機会にもなるので、中央区一斉清掃などでもできるとよいのではないかというお話がありました。
- 宮本委員より、宮本委員のコミュニティ協議会でも一斉清掃を行っており、清掃している姿を見せることでポイ捨ても減っているのではないかという意見がありました。新潟駅南口の分離帯は交通量も多く危険なため、清掃ができず困っているという意見がありました。
- 高田委員より、一斉清掃は、地域をきれいにするだけでなく、住民同士が交流する機会になるという点でも重要であるという意見がありました。

	<ul style="list-style-type: none"> • 田中（雅）委員より、公園愛護会の活動や成功事例を聞きたいという意見がありました。 • 佐藤会長より、佐藤会長の自治会では、公園愛護会として有志で、草刈りやゴミ拾いをしてきている人がいると報告がありました。 • 阿部委員より、阿部委員の自治会では、長寿会が月一回集まって公園の清掃活動をしており、集まることが楽しみにもなっていると報告がありました。 • 樋口委員より、地域住民が協力して行い、危険な場所は行政に委託するというように、一体となって取り組むことが大切だという意見がありました。 <p>6 閉会</p>
県議・市議	3名
傍聴者	1名
報道機関	1社